

9月2日開催 第51回ABDC会議議事録

議事録署名人：近藤誉仁

書記：貫名強

議事進行：清水基允

参加者（出席者, 委任者に委）

最高顧問 稲川素子 顧問 山田博明 富田圭潤

顧問弁護士 正田光孝 顧問税理士 池田奈智

清水基允 中嶋秀樹 森脇健司

大下修弘 井川まゆみ 樋口暢哉

委 花田諭 西尾浩一 委 木下聡明 近藤誉仁

委 朝増拓哉 貫名強

山崎博道 委 加治屋貴士 上脇友季湖 片山雄暉 委 毛塚陽康

委 小林恒路 橋本悠 松岡佑紀

末安祐一郎 委 小野晃歳 新井健伊稚 委 石川浩之

斉藤達哉 菅野純代

正藤隆史 荒木康孝 三信真樹

【各選手会からの現状報告】

●EJBDF選手会長 清水基允より

11月の試合が中止となりました。

●TNKS選手会長 森脇健司より

8月23日に関東ダンス選手権in埼玉が開催されました。

●JPCL選手会長 中嶋秀樹より

9月20日のギャラクシーマスターズと統一ショーダンスが延期となった。

【各部報告】

●経理部（正藤隆史部長）

賛助会員についての問い合わせが1件ありました。

7月豪雨災害の状況報告はあるか。

→EJBDF、TNKS、JPCLともに報告なし。

●総務・統括部

総務担当：貫名 強

賛同人への活動報告を送るべきか。

→送ったほうが良い。執行部に文章内容を共有し、確認後に送る。

→住所不明の方は送れないため、ホームページで掲載する等の方法を考える。

●企画・事業部（山崎博道部長）

【DANフェス!2020について】

サンプルの動画を作りたいので、全員に15秒のダンス動画を送ってほしい。
ポスターとホームページを公開して本日から拡散していく。

- ➡ABDCのSNSを広報部でまとめて引き継ぐ。小野部長と末安部長が管理する。
- ➡15秒の動画は横取りでマスク着用で撮影する。
- ➡本番も動画の拡散と主催団体としての責任を考えてマスク着用にて開催する。

● 渉外・広報部（末安祐一郎部長）

【賛助会員に向けて】

UKKサポーターの広告を選手会員向けに連絡してよいか。

- ➡選手会が1企業を応援するのは良くない。選手連絡はやめたほうがよい。

今後は協力していただける企業をどのように広告していくか。

- ➡ABDC通信に企業の情報を載せる。
- ➡ホームページバナーの更新の連絡と一緒に企業に連絡をする。
- ➡バナーがある企業のみABDC通信に情報を載せることができるようにする。
- ➡サポーター企業(バナーと月間ABDCへの情報掲載)について、本年度は無料、来年以降の継続からお金を頂く方向。
- ➡以上をまとめて運営委員会のグループに共有する。

賛助会員のメリットとしてパーティーの動画は共有できるのか？

- ➡著作権の問題で難しい。
- ➡選手のインタビュー等の企画をする。著作権フリーの曲で動画を作る。
- ➡ABDCの発信媒体を強くしないと協力者は少なくなる。

【その他】

●NDCJ管理委員会，競技委員会報告

学連の高額バイトは学連基本4原則に接触する可能性があるので学連運営委員会に提案。

今年の世界選手権の派遣は見送りになったので代表権は持ち越しにする。

来年のアジアオープンは10月頃に開催予定。

【バルカーカップ関連】

スポンサーからの提案の報告がなされ、其れに関して協議し、以下の事項の決定により開催する事となった。

決定事項

- ・無観客での開催とする。
(当日役員以外の選手会員やOB会員の入場も不可とする。)
- ・開催時間を最長3時間とし、各種セレモニーも最大限に簡素化する。
- ・選手の控室は、“さくら”および“うずしお”にて、仕切りなどを使用し、他のペアとの距離を十分に保った独立した空間を用意する。

- ・出場選手全員に自己負担によるPCR検査の受検を義務付ける。
- ・準決勝を2ヒート（18ペアの場合は3ヒート）にて行う。
（これにより準決勝におけるフロアー内の最大ペア数は6となります。）
- ・出場者全員を招待選手とし、エントリーを無料と致します。

検討事項

・出場選手ペア数に関して、ボールルーム、ラテンアメリカン共に18ペアにする事を検討事項とする。

（昨年の成績が準決勝の12ペアだけでは3団体の選手が揃わず、2団体の選手しかいないセクションが生じてしまい、3団体が一致団結して開催する統一全日本としての体裁をなさなくなる為、昨年の準決勝入賞者である12ペアと、各団体から推薦された6ペアの選手とで、18ペアとする事を検討。）

尚、18ペアとなった場合でも、準決勝からの2ラウンド制（準決勝と決勝の2ラウンド）とし、準決勝は3ヒートで行う。

（これにより、準決勝におけるフロアー内の最大ペア数は6となる。）

・ジェイ・スポーツからの要請で、5種目の内、何種目かをソロ競技や2ペアでの競技（デュエット競技）の形式にする事を検討事項とする。

（準決勝も1種目ソロ競技を1種目入れるなど検討。）

・出場選手は、競技中、状況に応じてフェイスシールドを着用する。

（着用条件に関しては検討事項とする。）

●その他

白門保険の比較的安価と思われる郵送PCR検査の情報を選手連絡で流す。

池田先生の給付金オンラインセミナーを開催予定。

次回会議予定 9月29日 9:30よりZoomにて

議事録署名人